

私の留学体験記

広島県立加計高等学校 2年 栗栖 莉奈 (くりす りな)

留学期間 平成29年8月14日 ~ 平成29年8月29日 (16日間)

留学先 ホノカア高校 (ホノカア, アメリカ合衆国・ハワイ州)



私にとって今回のハワイへの短期留学は、ものの見方、考え方が変わり、初めて体験することばかりで有意義な時間となりました。

私はハワイの方々が自分を受け入れてくださるか、コミュニケーションをきちんと図ることができるのかなど、留学の直前まで心配していました。しかし、いざ留学が始まるとハワイの方々には誰もが優しく、とても温かく私を受け入れてくれました。留学中、私のことをいつも気にかけてくれたり、戸惑っている私に声をかけてくれたりと、とても親切でした。不安でいっぱいだった私を受けとめて親切にしてくれたおかげで、今回の留学が心に残る最高の思い出になったと思います。

私は相手に自分の思いを伝えることが苦手です。実際にハワイでも「どうせ伝わらないだろう」と諦めてしまい、自分の気持ちを伝えない、あるいは伝えきれないことが幾度かありました。しかし、姉妹校のホノカア高校の生徒たちは私とは異なっていました。何でも相手に伝えていて誰とも人間関係の壁が感じられませんでした。さらに、ホノカア高校はフィリピン系や日系などの生徒が多く多様性豊かな学校でした。先生、生徒はみんな良い関係を保ち、授業もアットホームな雰囲気の学校で、私もここで学びたいと思いました。二週間ホノカア高校に通って、他人の目を気にせず堂々と自分の気持ちをきちんと伝えられるように努力をしたいと思うようになりました。

私は相手に自分の思いを伝えることが苦手です。実際にハワイでも「どうせ伝わらないだろう」と諦めてしまい、自分の気持ちを伝えない、あるいは伝えきれないことが幾度かありました。しかし、姉妹校のホノカア高校の生徒たちは私とは異なっていました。何でも相手に伝えていて誰とも人間関係の壁が感じられませんでした。さらに、ホノカア高校はフィリピン系や日系などの生徒が多く多様性豊かな学校でした。先生、生徒はみんな良い関係を保ち、授業もアットホームな雰囲気の学校で、私もここで学びたいと思いました。二週間ホノカア高校に通って、他人の目を気にせず堂々と自分の気持ちをきちんと伝えられるように努力をしたいと思うようになりました。

また、ホノカア高校には日本にとっても興味を持っている生徒が多くいました。私たちに「おはよう」と日本語で積極的に話しかけてくれる生徒もいました。私も見習って積極的に話す機会を見つけるなどして、英語に慣れていきたいと思いました。

今回、私たちが滞在したホノカアの町を探索するフィールドワークとして、ホノカア高校の近くにある後藤潤氏のモニュメントを見に行きました。後藤氏は、かつて日本からハワイに渡り、商店を開いて成功を収めたものの惨殺された悲劇の人物です。後藤氏の悲劇は長い間忘れられてしまいましたが、後藤氏の姪にあたる嘉屋文子さんの尽力によってモニュメントが建てられました。嘉屋さんはハワイで生まれ、日本に戻り広島市に住んでおられました。このフィールドワークを通して日本とハワイ、そして広島とハワイのつながりを学ぶことができました。

今回の留学を通して、本当に貴重な経験ができました。これからの日々の生活に生かしていきたいと思います。

